



Color Classic
Situation Note
Extension 04

“567”

Presented by



NOTICE

成人向け書籍

私とセツテが
フェイトお嬢様の
担当となっているのは
知っているのだろうか？

はいええ…
お時間なら
いくらでも
何の相談です？

あーら
トーレ姉さま

クアットロ

……少し
いいか？

ええ勿論

今やゆりかごは
軌道上に到達し
全ミッドを人質に
管理局と今後
について交渉中

その間私たちは
捕虜にした
局の戦力何人かの
扱いを任せられ……

それでトーレ姉さまと
セツテちゃんには
あのおつかない執務官の
女を担当する事にな
ったんですねえ？

ああ……
ドクターは彼女を
13番のように改造し
我らの仲間に加えたい
らしくてな

そのための下地を
準備するよう
言われているのだが

……下地？

普通なら記憶操作をして
しまえば済む話なんだが…
お嬢様の場合は既に
誕生の過程で一度
記憶を転写していて
話が少々ややこしい

もし宜しければ
映像を使って説明しても
宜しいでしょうか？

はい

いいですよお

にっ

はあ……

はあ……

トッ

それでは
これを

ここ暫く……
我々が行っていた
ことの記録です

あ……
……かッ

ドクターは
最も確実な方法として
行動を完全制御できるプログラムを
レリックのような結晶体に内包させ

フェイトお嬢様の
リンカーコアに
それを強制融合させる
つもりようです

しかしそのためには
彼女自身が己のリンカーコアを
正常に使えない状態に
陥らせる必要があります……

要はフェイトお嬢様の
肉体と精神を
こちら側でポロポロの
状態におかないと
いけません

そこでご覧の通り……
まずは分かりやすい形で
残存体力を削いでいく
ことにしたのです

はッ……
……かあッ





しかし……
上手くいったのは
途中まで

な……
中に出して
良いの……か？

肉体は順調に弱まって
いったのですが……
精神の方は目立ったダメージを
与える事が中々できずにいて

試しにトーレの提案で
強制的な性交渉をやらせて
みたところ若干の変化が
生じたようなのですが……

しかし結局時間が経つにつれて
むしろより強い抵抗の意志を
持つようになった節があり
……この後どうすれば
いいものかと悩んでいるのです

……構わん
……やれ

く……
ッ……
う……

ギッ

う……



まあ方向性としては
間違っていないと
思いますよお

トーレ姉さまも
お気づきの通り
この手の拷問なら
辱めるのが一番
ですから

私はそもそも精神への
ダメージという概念が
よく理解できませんが

あー……
そうですね

ま……事情は
分かりました

見たところ確かに
一筋縄じゃあいかない
でしょうから
私が伝授して
あげましょう



落とし方って
やつを

なッ…

なにをッ…

やめッ…
やめッ…

これで
いいの…?

……そおです
その辺りに
突起のようなもの
ありませんか?

あるぞ

じゃあそれ
吸って下さい

しゃん

あ……
ああ……ッ……
あ……





いいのか？
もう止めて
しまつて

トーレ姉さま…
スミマセンが
そこで一旦
止めてください



はよ
はよ

今日は一人…
加わつてる



ええ……

一応これでもう
この女の
濡れ濡れスイッチは
入りましたからね

が
あ
あ
あ



そりゃあ
このままアソコを
弄つていれば…
イツちゃつて
「あーん」
つてなもんで
しょうけど

そんな平凡な形で
絶頂を迎えたところで
こういう女は
どうせすぐに正気を
取り戻しますよ



これが…
私の扱いに少なからず
手を焼いている兆候なら
これで良いんだ
このまま耐え続けて…
…思い通りにならない
ようにしないとッ

ふふ…
怖い目つき
ですねえ

ここまでの拷問を
乗り切つて
強気になつてるん
ですかあ？

でもあなたみたいな
タイプは手強いとは
言わないんです
単に普通と違う攻め方を
すれば良いだけの事



いいですか？
決してイかせず
じらし続けるんです

じらせば
じらすほど……
絶頂の度合いは
高くなる



ですから
直接性器に触れる
のは一旦止めて
それ以外の
性感帯をねちねちと
責めていきましよう

という……
どこになるんだ？



人それぞれ
ですけど……
まあ大体は
お決まりです

セツテちゃん
悪いけど今から
言う箇所を
舐めてつて
くれる？

はい



上から……
まずは耳の辺りを
ねっとり

……ッ

そう……
そのまま
首筋まで
下がって……

や……だッ
舌の感触が……
……すく……



次は……
乳首を
ぐりぐりと……

あらら
息が荒くなって
きてますねえ

セツテちゃん
ここ重点的に
吸っちゃったり
してみてもえん

は……ッ

は……ッ

なに……
これ……ッ

この前……犯された時は
気持ち悪い……感じ
……だったのに……
何で今日は私……
こんな……
身体が熱く……ッ

ああそうそう…
人によつては
ワキの下なんかも
感じちゃうって

だめッ
そこッ…は…
声…でちや…っ

ふふッ…
では最後に
お尻の穴

あ…
あ…
あ…

あ…
あ…
あ…

悪いけど
セツテちゃん…
肛門に舌を突っ込んで
もらえかしらん

あ…
良い反応
ですねぇ

じゃあ…
脇腹も

こんな感じ
でしょうか？

あ…
あ…
あ…

パリアジャケットが
破損して
無防備になつてる
とこ吸っちゃって♪

はい…

あッ…

あんッ！

どうです？
この反応
まだ性の
経験が浅い身体
ですからね

穴の中に強引に
押し込むより
こういう風に
軽く弄つてる方が
よっぽど感じ
ちやうんですよ

まして最初にやった
クリトリスへの刺激で
スイッチ入っちゃって
ますから

…そういう
ものか

さて
ま…
節操のない身体のように
基本的にとこを責めても
感じてしまうタイプ
みたいですけど

今の反応で
おおよそこの女の
弱いところが
把握できました

セツテちゃんには
乳首ぎゅーぎゅーに摘みながら
わきの下べろっべろに
舐めまわし続けてちょうだい♪

承知しました

トーレ姉さまは
特にお尻の穴の
周りを重点的に
刺激し続けて下さい

この女…
きつとこの辺りに
強い性感帯を
持っていますから

分かった

ふら…
ミン

グイッ

あッ…

やめ…
ッ…
め…
ッ…

はッ
はッ

ゴッ
ゴッ

ちゅ…
ちゅ…

ちゅんちゅん。

私はその間に
いくつか使えそうな
ものを仕込んで
きますので

くれぐれも
イかせないよう
お願いしますね

発行：サイクロン

発行日：2008年10月25日

印刷：株式会社ポプルス様

連絡先：webmaster2@cyclone.sakura.ne.jp

本書籍は18歳未満の方への頒布はお断りさせていただきます。
この物語はフィクションです。実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。

なお、この本を発行した事によって発生する全ての権利は放棄されておりませんので、申し訳ありませんがスキャン画像の無断掲載や共有ファイルとしての利用行為はご遠慮下さいませ。



ふふ……
凄いですねえ

さすがは
トーレ姉さまと
セツテちゃん
仕事に
ぬかりがない



そうか?
相変わらず……
お嬢様のご機嫌は
宜しくないようだが

いえいえ……
強がつてる
だけですよお

だってほら……
見て下さい

お二人に
全身の性感帯を
刺激され続けて
こんなのに
なっちゃって
るんですから

確かにそれは
間違いないが……

ふふ……あらら
汚い汁をあんまりにも
垂れ流すもんだから
バリアジャケット
むれちゃって

いやらしい
ニオイを
撒き散らしてますよ



数値は
どうだ?

中々
ですね

でも何で……そんなことを
戦闘機人が気にして……
今さら戦うわけでも
ないのに……

今まで見られ
なかつた
ブレ方です



リンカー……コアが弱く……
わたしのが?

何ならこの女の
動きが弱く
なってるに
計測してみして下さい
違いありません



念のためもう一つ…
…心をえぐる刺激を
用意してきました

でもまあ
今回は相手が
相手ですからね



もっちゃん…
ご安心下さい

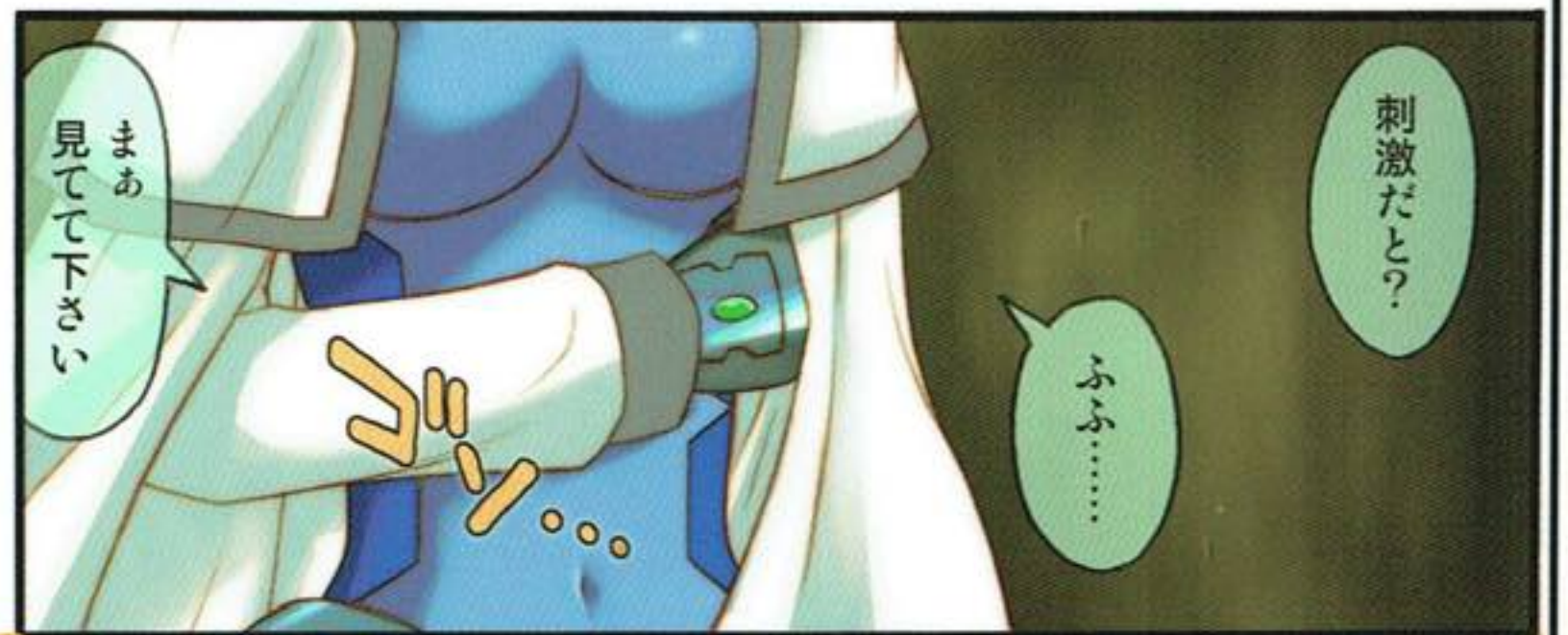
本番はこれから
最後にモノを
言うのは…
やはり性器同士の
擦り合い

今にもっと
分かりやすく
この女の落ちっぷりを
ご覧にいきますよ

これだけの興奮状態にある
身体ならば
男たちによる辱めが効果を
あげるといふわけか？



そくれツ



刺激だど？

ふふ……

まあ
見て下さい





なに……これ……



いま何かへんな
気持ち胸を……

痛い……けど
違う……それだけ
じゃない……この感じ……
……ッ

ヒッ

グニャッ

どうですかあ？
エリート執務官さん
久しぶりの
ムチの味は



ふふふ...

あ...
ああ...

あッ...

随分と立派に
成長された
ようですね...

やっぱり...
過去って消せない
もんですねえ

スト...



あ...

い...やあ...
あ...

あなたのその
怯えた目には
ちやくんと
あの人が写って
ますかあ？





ひうッ!

あぁッ!

あッ!

イェッ

イェッ

う……
う……

サッ
サッ

あらららー
失禁まで
しちゃうなんて
これは予想以上

うう……
うう……

シッ
シッ

ま
トラウマ
ですわー
この女:
小さい頃に母親から
コレで打たれて
酷い目に遭ってた
みたいなんで……
使えるかなあつて

ここまで効くとは思いませんでしたけど

我々が
やった時とは
まるで反応が
違いますわ

どういふ事だ
クアットロ
この前は
どれだけ痛め
つけても
ビクとしな
かったのに

今の
そいつは

いやあ

とーっても
脆くなって
ますから

いやあ
ツ

へへ：
本当だ

フェイトちゃん：
パニックなんかおこして
今日はどうしたのかなあ？

なん…でッ

触れられるだけで
体の震えが
止まらないッ

ヒリッヒリッ

怖くて…：
力が入らないッ

よし
押さえろッ

押さえ
つけろッ

ちゅる
ちゅぽッ

怖い…

怖くて
堪らないッ

いやあ!!!

あッん…

あ……
んううッ…

んふッ……
んッ

戦闘機人にあの時の
記憶を引き出されて
しまってから

この前は
あんなに
淡白だったのにな

これがアンタの
本性かい？

私は
触れられるもの全てに
怯えが止まらず……

お前みたいなの
淫乱が執務官じゃ

だけど身体は

確実に
火照ってて……

そりゃあ
管理局も
負けるわけだぜ

ずちゅっ

ずちゅっ

んッ……

んふ……

んふッ

んふッ……
んふッ

んふッ……
んふッ

ずちゅっ



そう…
イけないまま
じらされ続けた
あの苦しみが

ここにきて一気に
解放される事によつて私は…

あ…
ふあ…
あ



へへ…
タガが外れち
まったか?

あ…
間…

下品な
顔しやがって

快感の虜に
なつてしまつていた

ホントに…
精液大好きって
面だな

ならありつたけ
ぶっかけて
やろうぜ
こいつを一晚で
精液臭い女に
仕上げてやる

たっぷり
飲み

おら…
口開けろ

どうし…
…たんだろ
私…

…精…液のツにおいて…
興奮して…まぢやう

はあ
はあ

どぶ…

気持ち良いッ

ほら……
もっと舌だして
絡めてこいよ

ん…

そうそう…
上手くなって
きたじゃねーか

この…ま…
気持ち良さ
……流されたいッ

あのメガネの人から
ぜーんぶ聞いたよお

フェイトちゃん
乳首と腋が
弱いんだってえ？

んんん

んんん

どぶ…

快楽に
染まらせて……

今だけ……

あ…

今……ほんの
少しだけ…
このまま……

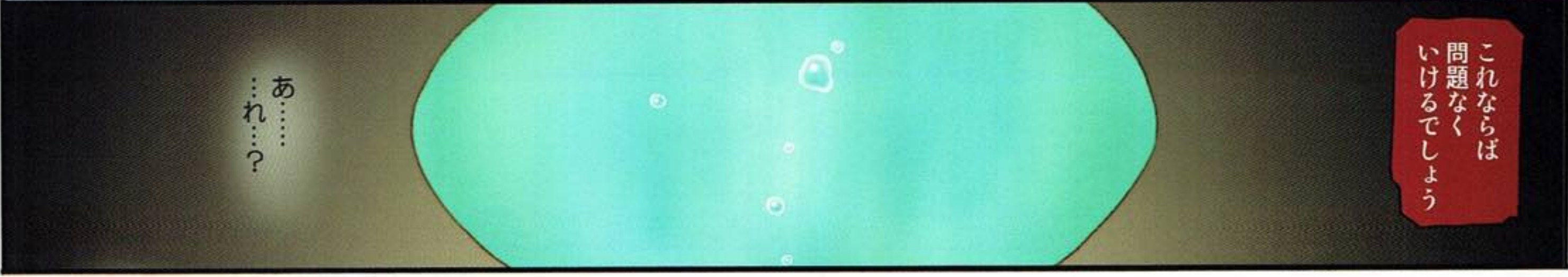
ほっ

れろ
れろ

はっ…

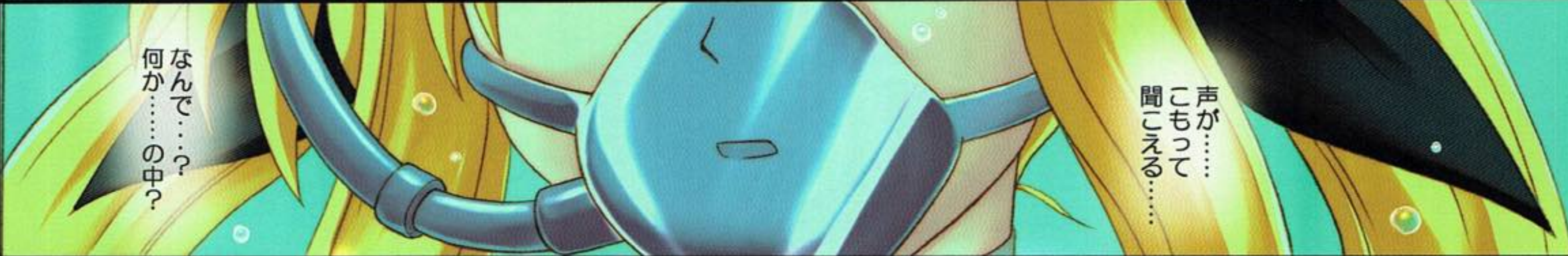
リンカーコア……
不安定化に
成功しています

どうだ？



これならば
問題なく
いけるでしょう

あ……
……れ……？



声が……
こもって
聞こえる……

なんで……？
何か……の中？



なッ……

なに……これ……
なにをッ……
する……つもり……

ハッ



フェイトお嬢様
ようやくあなたが
我々の側に来る時が
きたんですよ



あーらー
何か意識
取り戻しちゃった
みたいですよお

このまま
眠っておいた方が
幸せだったかも
しれないのに



ハッ

!!?

とじい
…とッ

今からあなたは
頭と体をいじりまわ
されて我々の仲間に
改造されちゃうんです

ふふ
平たく
言うとお

そん…なッ!

まずは
リンカーコアの活動を
強制停止させます



やめて
お願い…

あーあーあーあッ!!!

ゴキブリ

そんな
怖がらなくても
大丈夫ですよお
すぐに終わり
ますから

残念ですが…
肉体と精神が共に
ポロポロのあなたに
抗う術はありませんよ



意識レベル
低下...

リンカーコア...
休眠状態への
移行を確認

ぽ...ぽ...ぽ...

あ...

ヒューヒュー

ヒューヒュー

バリアジャケットの
分解も始まりました

ズンズン



いやだッ

消えてへッ...

こんなの...
...いやッ

みんなの事ッ



イヤだッ

絶対
忘れたくないッ

なのほッ!

なのほッ!

書き換え作業

順調です



書き換え作業
順調です

はいッ

つとというのが
これまでの
流れでしてえ

ご存知の通り
彼女……
フェイトお嬢様の
肉体改造は無事成功

昨日から
正式稼動して
管理局の残党狩りを行
わせてますー

ただ：改造直前まで
少し刺激の強いコトを
し過ぎたせいか
少しお行儀が悪く……

あ……

戦場だと言うのに
瀕死の局員相手に
妙な事し始めたりも
しましたけど

あ……

まっ
作戦の遂行能力
そのものは
非の打ち所が
ありません

……いきなり
最強の駒が
手に入ったって
感じてすねえ





例の……
エースオブエースへと
あてがっています



ふむ

……って
今はどうして
るんだい？

今は
です……



おね……がい
……ッ

フェイトお嬢様と違って
あの女は……聖王以外に
これといって精神面で
エグる決め手を中々
見つけられなくて

正直なところ
調教の方はうまく
いっていません
でしたが

やめ……て

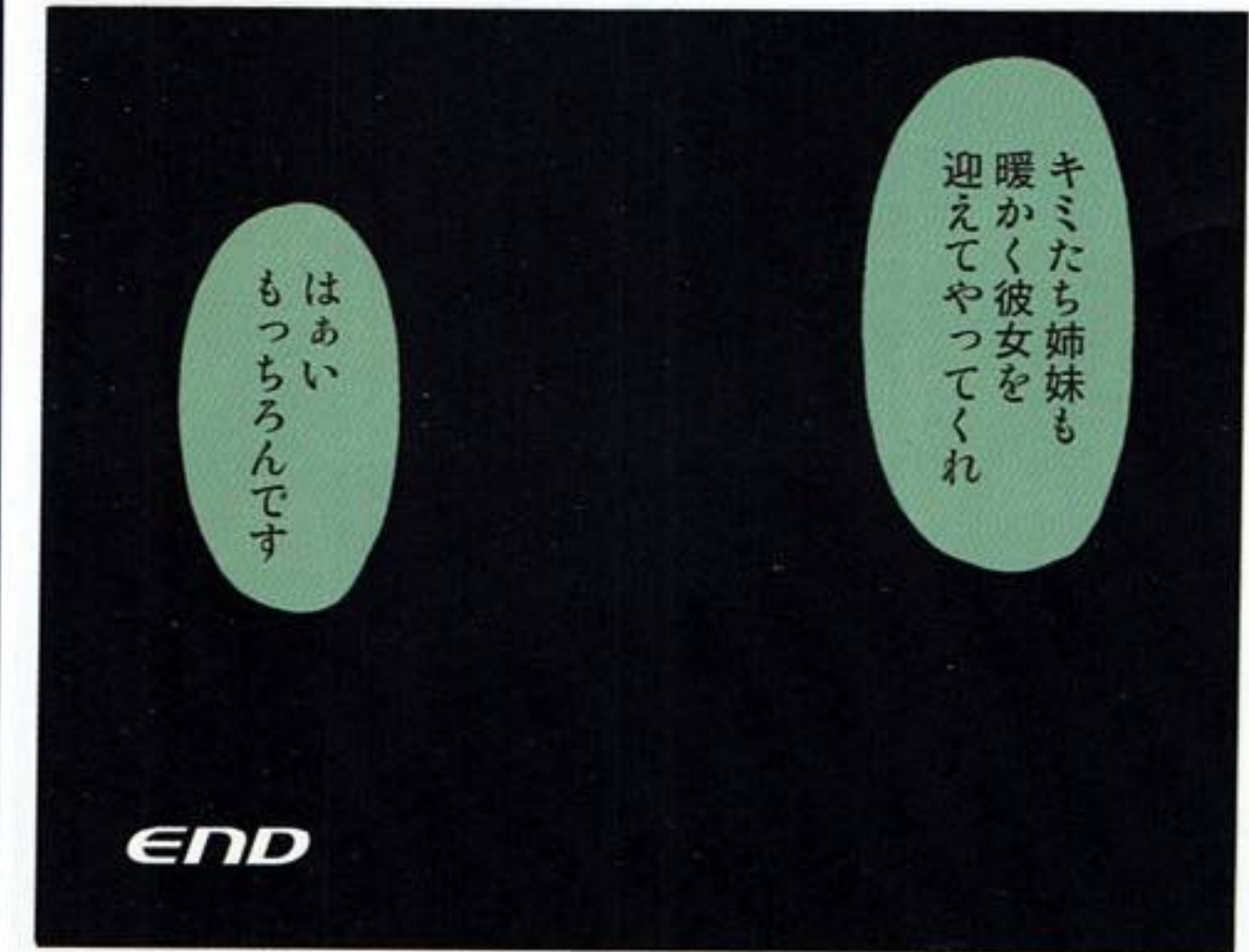
わたし……
正気……
……保てな……

はッ

はッ

フェイト……
……ちゃん

あの子を
投入してからは
良い感じに壊れて
きてますよお



キミたち姉妹も
暖かく彼女を
迎えてやってくれ

はあい
もっちらんです

END



いやあ……いいね
素敵な光景だよ

唯一無二の友人を
前にしても眉一つ
動かさず忠実に働く姿は
実に素晴らしい

はッ

はッ

そのうち人格形成が
始まると思うが……元々
あんな母親の戯言にすら
黙って従うような
性質だからね

我々への帰属意識を
植え付けてしまえば
……言うなりだろう



All Fullcolor

